ＰＴＡ総会によせて（今年度の取り組みとお願い）

別海町立上春別中学校
校長　高橋　秀明

厳しかった冬の季節が終わり、穏やかな春を迎える中で、新しい年度の取組がスタートを切りました。

川崎での未成年による殺人事件や、体罰、いじめ問題等が山積する社会において、子ども達の安心・安全を守っていくためには、地域や家庭からのサポートはなくてはならないものになっています。　その一番の活動がＰＴＡ活動であり、大人が率先垂範してその姿を見せていかなければなりません。忙しい中での取り組みとなりますが、今年度もご協力よろしくお願いいたします。

さて、例年この総会で学校の経営方針について話をしているようなので、簡単に紹介いたします。学校で身につけさせるものは、もちろん基礎基本を中心とした学力の定着になりますが、社会に出て行ったときに問題にあった時に、その問題を乗り越えられるたくましさを身につけさせなければならないと思っています。上春別中学校は、今年度もさらなる充実と発展を目指し、昨年度に引き続き「知育、徳育、体育」のバランスを意識した教育活動を展開させる中で、生徒一人一人の学びが保障される学校づくりを目指し、教育目標「知性を磨き　心豊かにたくましく」の実現にむけて教職員が一丸となって取り組んで参りたいと思います。

＜重点目標の具現化に向けた方策＞

１　知育の育成について

基礎的・基本的な学力の定着と、生涯にわたり学び続ける態度の育成を図るため、育てたい力を明確にした授業改善に努めるとともに、表現力を高めさせる教育活動を工夫します。

１）標準学力テストや全国学力・学習状況調査の結果を検証する中で、根拠を元にした改善プランの作成とそれらを活かした具合的対策の推進
２）課題提示、課題解決に向けた手立て、定着効果を高めさせる振り返り場面の設定及び、体験的な学習や思考・表現場面を位置づけた学習展開等、主体的な学習を保障する授業改善
３）週 30 コマの授業実施による時数の確保と単元まとめ学習の充実による基礎基本の確かな定着
４）評価規準や評価方法の見直しによる、意欲を引き出し、成果と課題を明確にする学習評価の工夫
５）スキルアップ学習会（長期休業中及び、火曜日放課後学習）の設定による補強学習の推進
６）T,T 等の授業サポート実施による、きめ細かな学習指導の充実と学習意欲の喚起
７）小中連携による家庭学習の習慣化及び、強化を図るための宿題等による教科間の連携
８）朝読書の実践推進による読解力の向上と、学習環境の充実と整備
９）英検、漢字検定の積極的な推奨と受検サポートの充実

２　徳育の育成について

地域に学び、地域に貢献する態度を育てるなど、ふるさと意識の高揚を図ります。また、社会に関する意識を高めさせ、地域に貢献できる心の育成に努めていきます。

更に、相手を思いやる心と、仲間と協力し合う大切さを育成する道徳教育の充実を図っていきます。

１）ＮＯ校則・ＮＯ制服・ＮＯチャイム運動の目的を、意識させた働きかけによる自主自立の強化
２）学級、生徒会、各種行事等における目標の明確化及び仲間を思いやる態度の重視
３）行事等における縦割り班活動を、活用した異年齢交流による立場の違いによる自主性の強化
４）調査研究、職場体験、ボランティア活動等を内容とする系統的な計画による総合的な学習の推進
５）道徳授業公開や実践交流による授業強化と、実態に応じたタイムリー課題の取り上げによる実践の充実
６）いじめや不登校の未然防止と早期発見・早期対応のための教育相談の充実
７）言葉遣いや礼儀、話を聞く態度、時間厳守など生活の基本の徹底
８）地域行事への積極的な参加と地域人材や教育資源を活用した教育活動の工夫

３　体育の育成について

心と体を連動させる中で心身を鍛え、健康な生徒の育成を目指します。また、体験的な学習を通して正しい判断と自ら危険を察知し、危険を回避できる能力の育成を目指します。

１）日常的な安全指導と避難訓練等の実践を通して、危険を回避する能力や緊急時の冷静な対処方法を学習
２）「早寝、早起き、朝ごはん、テレビを止めて、外遊び」等の奨励強化による基本的生活習慣の定着と健康な体作りのサポート
３）薬物乱用防止教室やＡＤＥ講習会等による身の安全を守る学習の充実及び、命の大切さを理解する学習の強化
４）全国体力、運動能力調査の結果検証を活かした、体力向上につなげる体育教科等の授業改善を推進
５）給食を活用した食育指導の充実と保健室と連携した情報提供の充実

昨年度、保護者の皆様、地域の皆様の絶大なご支援とご協力を得る中で、大きな課題等を乗り越えてくることができました。様々な機会をとおして、皆様からの期待とこれまで築き上げた伝統への誇りをあらためて感じました。

教育の成果は、学校の取組とご家庭や地域の教育力の結集によって、より確かなものになります。そのためには、学校の主人公である生徒と教職員・保護者・地域が心を一つにした教育活動をすすめていかなければなりません。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。